

福井県立福井東特別支援学校月見分校3年 山添 蒼

最近、税と社会保障の一体改革という言葉がニュースでよく聞きます。そして消費税の増税についても討論されているようです。私は増税をすると品物の値段が上がるので、いやだなと思っていました。きっと増税をすれば、生活が苦しくなる人が少なくないと思ったからです。

一方で、増税されると年金や医療などに使えるお金が増えて、幸せに暮らせる人も増えるかもしれません。一体改革の言葉のように、増税で集められた税金が、日本で不足していると言われている社会保障に使われ、たくさんの人が幸せになって欲しいと思います。

私は八歳の時に難病指定の心臓病であることがわかりました。その頃は風邪がなかなか治らず、母に連れられて、たくさんの病院へ行き、最後の病院で今の病気のことわかりました。すぐに入院が決まり、学校にも行けなくなりました。そして東京の病院に転院し、退院後も家で治療を受けています。月に二、三回病院へ行き、五種類の薬も飲んでいきます。

そこで私は疑問に思いました。治療のためにどれくらいのお金がかかっているのか、そのことで家族は大丈夫なのか知りたくなりました。母に聞いてみると、私が受けている治療の大部分は、たくさんの人々が納めている税金で助けられていると知らされました。税金のおかげで、私が今こうして治療を受けられることは幸せだと心に感じました。

東京での受診の為の移動中に、東日本大震災にあった時に助けられた救急車も、税金で動いていると聞き、驚きました。

私は今、中学三年生で、特別支援学校を出て、一般高校への進学を希望しています。そして今、将来、私ができる仕事についても少しずつ考えています。体力を考えると、出来る仕事は限られるのかもしれませんが、私が興味のある仕事に就けたらいいなと思います。そして、少しでも税金を払えるようになって、今度は自分が社会を支えるようになりたいと思っています。

今、日本は少子高齢化で、社会保障費がどんどん増えているそうです。税金によって助けられている高齢者や私のように病気をもっている者でも、少しでも税金を払って社会を支える機会があってほしいと思います。

私が住んでいる福井県には、高齢化率が高くても介護率が低い池田町という所があります。そこでは多くの高齢者が自分の出来る範囲で野菜を育て、町のスーパーで売って、収入を得て暮らしています。その野菜は本当においしいのです。工夫次第で、このように税金で支えられている人も収入を得、税金を納めて社会を支える側になれるのです。私もいつまでも助けられるだけでなく、納税という形で他の人を支えられるようになりたいと思っています。